

第2回区民教養講座 「狩野派、谷派の文化遺産」

足立史談会だより

足立区立郷土博物館
足立史談会事務局
TEL 03-3620-9393
FAX 03-5697-6562
金曜日 10:00-12:00



郷土博物館学芸員
小林 優 氏



【第432号】

令和8年3月15日

3月1日(日)、博物館講堂で30名の参加者があり、第2回区民教養講座が開かれ、郷土博物館学芸員の小林優氏から「狩野派、谷派の文化遺産」というテーマで講演会が開かれました。講演会では、最大の絵師集団「狩野派」や江戸画壇の重鎮谷文晁を頂点とする「谷派」に学んだ、足立の人々や旧家に伝わるさまざまな資料を紹介され、絵画学習の方法や絵師との付き合い、そして絵師に学んだ人に限らず、その地域文化への広がりなどについてお話しがありました。

2011年(平成23年)から本格化した地域資料に集中調査事業。2015年(平成27年)からは特に美術文芸資料を重点的に調査した結果2026年の現時点までに3000点を超える江戸～昭和期の美術品・資料を確認することになりました。

その中から多数の貴重な美術作品や粉本<(ふんぼん)絵を学ぶための絵手本や、それを写した模写、制作にあたって描いた下絵の総称>が発見され、狩野派絵師たちの指導方法の一端がはっきりし、足立に伝来した石出家粉本資料群から狩野派の裾野の未解明な部分に光を当てるばかりでなく江戸近郊地における狩野派需要の実資料として貴重な側面もあるということでした。

船津文淵・谷文晁ゆかりの粉本資料群から絵画学習を物語る粉本にとどまらず、活動記録としての日記類までを含んだ総合資料で地域の絵師の活動を明らかにする重要書類は全国的に希少であり貴重な資料群になっているばかりか船津家美術資料にしか存在しない貴重書類が多く含まれていることから今後の説明が待たれます。



総会は会員全体でつくるもの

足立史談会総会

4月25日(土)13時～

足立郷土博物館講堂

会員の皆様の参加をお待ちします

会費納入について再度のお願い

会費未納の方は、史談会の活動に賛同いただき、年会費を納めていただきますようお願い致します。

※会費未納の方は3月号に振り替え用紙を同封しましたのでよろしくお願ひします。